

“RESAS”から見る！ 「サテライトオフィス」の効果

～RESAS(地域経済分析システム)を活用した分析事例～



徳島は宣言する
Vs 東京

徳 島 県

1 可能性の宝庫・徳島

徳島県

- 四国の東部に位置し、「東」は紀伊水道に面し、「北」は香川県、「南」は高知県、「西」は愛媛県に接しています。
- 世界三大潮流にも数えられ、“世界遺産登録”を目指している「鳴門の渦潮」で有名な「鳴門海峡」を挟んで兵庫県ともつながっており、「四国と近畿の結節点」という地理的優位性も備えています。

関西エリア

近畿

四国と近畿
の結節点

四国

【概況】

- 推計人口：757,777人（平成27年9月1日）
- 高齢化率：30.1%（平成26年10月1日：全国6位）

【世界へ発信“あわ文化”】

- 世界に誇る伝統芸能「阿波おどり」
- “ジャパン・ブルー”「阿波藍」
- 300年余りの歴史を持つ「阿波人形浄瑠璃」
- 2018年にアジア初演百周年「ベートーヴェン『第九』」

【食の宝庫・徳島】

- すだち ●阿波尾鶏 ●鳴門金時 ●ゆず ●鱧（はも）

鳴門の渦潮



阿波おどり



阿波尾鶏



すだち



2 “ピンチをチャンスに！”の気概で、「徳島モデル」を創造！

徳島に訪れた“大ピンチ”

地上デジタル放送への移行(H23.7.24)

➡ 区域外波の受信が困難に！

従来《アナログ》10波

→ 移行後《デジタル》3波の危機！

H14年1月「全県CATV網構想」発表 → “ピンチをチャンスに！”

＜ケーブルテレビ世帯普及率 **88.6%** 4年連続全国1位！＞

“全国屈指”のフロードバンド環境！

「地方創生」の先導役！

課題解決先進県・徳島モデル

「知恵は地方にあり！」
を先駆的に実施！！

葉っぱビジネス「いろいろ」



サテライトオフィス



情報通信関連産業の集積



“徳島ならではの”の強みに磨きをかけ、“**地方創生の旗手**”として全国に発信中！！

3 地方創生の切り札！“サテライトオフィス”

“全国屈指”のブロードバンド環境！

【四種の神器！】

①地デジ対応

②高速ブロードバンド環境

③IP電話網の充実

④地域情報の発信



- ▶ “離れた場所”でも“いつもの仕事”が！
- ▶ 通信速度は「東京の10倍」とも！

H24. 3～

- 東京、大阪から、世界とつながる“ICT企業”が続々と立地！
- サテライトオフィスとして、“古民家”や“遊休施設”を活用！
- 県内5市町に31社が進出！
50名以上の地元雇用を創出！！
- 神山町・美波町（ともに12社進出）
「社会増」>「社会減」の年も！

サテライトオフィスプロジェクトの展開

- “徳島の強み”を活かした「攻めの集落再生」！

高速ブロードバンド環境

古民家再生

豊かな自然環境

- “新しい働き方”の具現化により、“新たなライフスタイル”を提案！

▶ 徳島から「新しい働き方」を提案

① ICTの力を最大限に発揮！ 時間と場所を超越した働き方の実現！

② 仕事と趣味を高いレベルで両立！ ワーク・ライフ・バランスの実現！

▶ 企業と地域がともに課題を解決

③ 過疎地でも世界最先端の仕事！ 過疎地での将来の可能性を実感！

④ 大都市部の学生と地元高齢者が相互に刺激！ 高齢者と学生がWin-Win！



① テレワーク



② 半X・半ICT



③ 進出企業が出前授業



④ 進出企業主催
インターンシップ

4 サテライトオフィス進出地域の現状分析例①

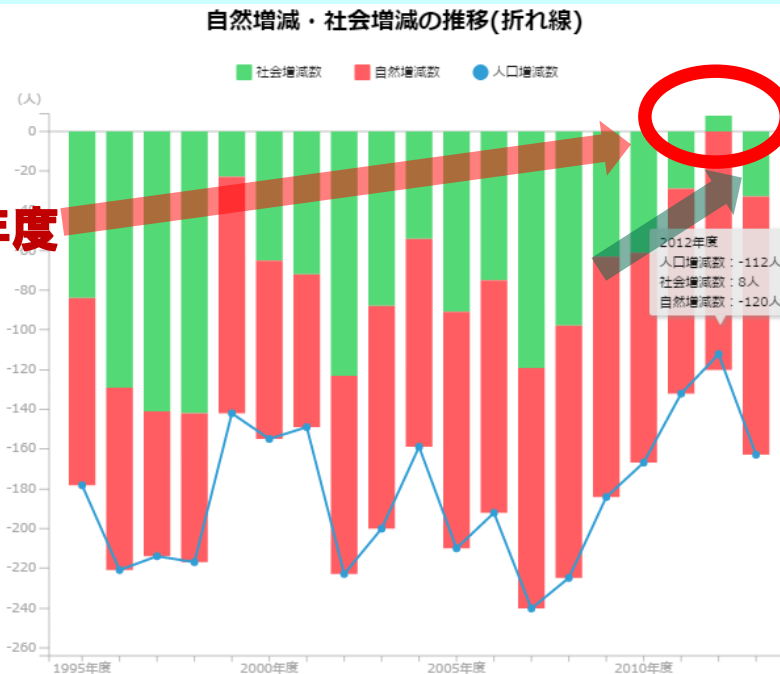
1. 社会増減の推移

(1) 神山町の状況

RESAS



【人口マップ】人口増減
■出生数・死亡数 / 転入数・転出数



【人口マップ】人口増減
■自然増減・社会増減の推移

出典: 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

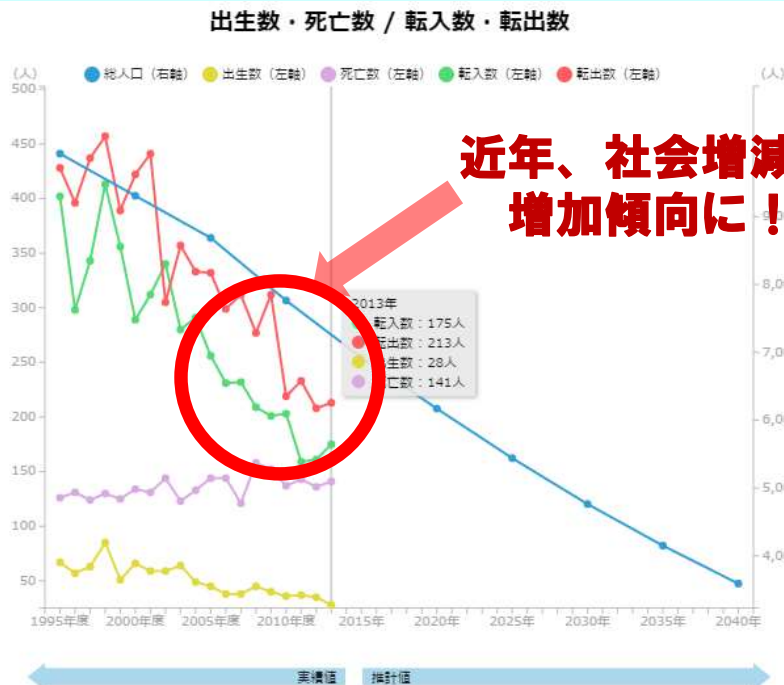
分析

- 社会増減については、
2013 (平成25) 年度は33人の社会減となっているものの、
直近5か年において**増加傾向**にあり、
2012 (平成24) 年度には、**社会増+8人**を達成!

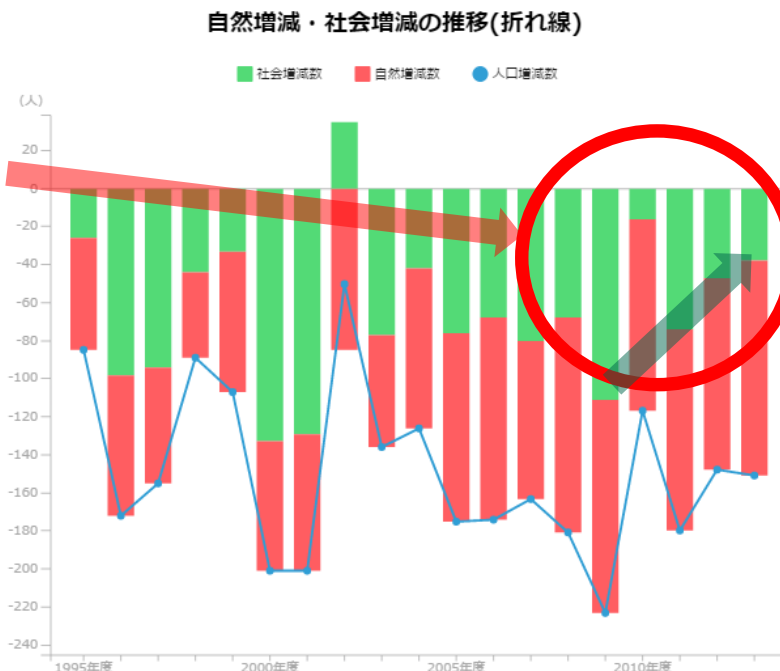
4 サテライトオフィス進出地域の現状分析例 ②

(2) 美波町の状況

RESAS



【人口マップ】人口増減
 ■出生数・死亡数 / 転入数・転出数



【人口マップ】人口増減
 ■自然増減・社会増減の推移

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

分析

- 社会増減については、2003（平成15）年以降、社会減が続いているものの、直近5か年においては**増加傾向**にあり、サテライトオフィスが進出した2012（平成24）年以降は、同期間の平均（-57.2人／年）よりも低い水準で推移。2014（平成26）年※には、**社会増+7人**を達成。

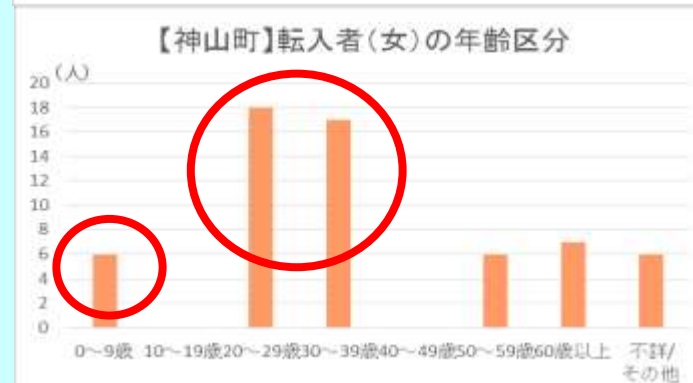
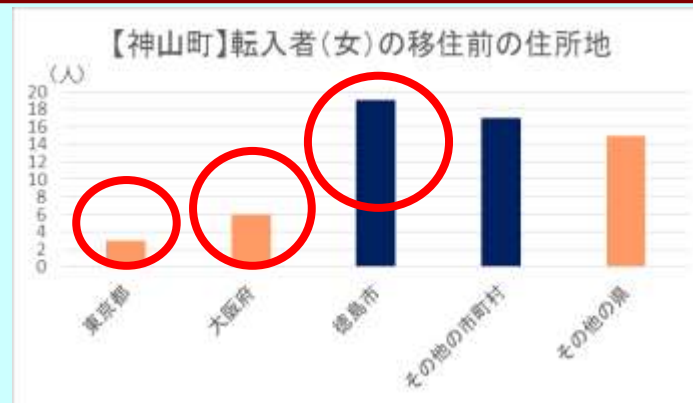
※総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査（平成27年1月1日現在）」

4 サテライトオフィス進出地域の現状分析例 ③

2. 社会増減の最新動向

(1) 転入の状況 (2014年/神山町)

R
E
S
A
S



【人口マップ】人口の社会増減 ■年齢階級別人口移動 (データ～2013)

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

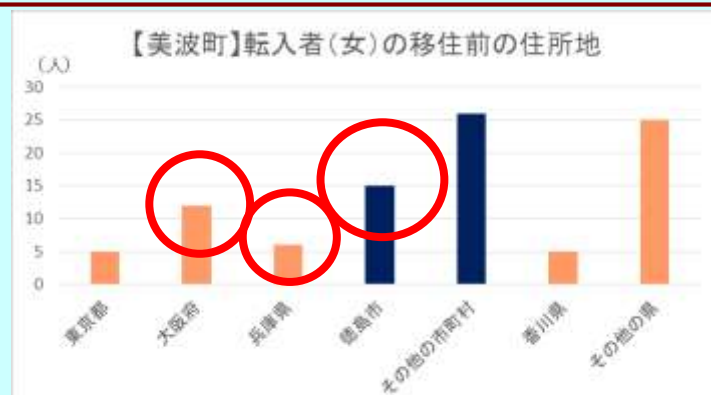
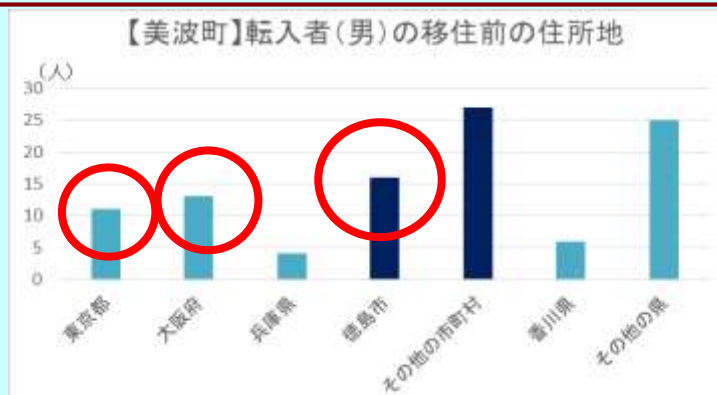
分
析

- 2014年の神山町の転入の状況を見ると、男女ともほぼ同傾向を示しており、**徳島市 (27.7%)**、**大阪府 (10.9%)**、**東京都 (8.4%)** から、
年齢階級では、「**20～29歳 (30.3%)**」、「**30～39歳 (26.9%)**」、「**0～9歳 (12.6%)**」が多くなっている。

4 サテライトオフィス進出地域の現状分析例④

(2) 転入の状況 (2014年/美波町)

RESAS



【人口マップ】人口の社会増減 ■年齢階級別人口移動(データ～2013)

出典: 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

分析

➤ 2014年の美波町の転入の状況を見ると、男女間で若干の差異はあるが概ね同傾向。

総数では、**徳島市 (15.8%)**、**大阪府 (12.8%)**、**東京都 (8.2%)** から、
 年齢階級では、「**20～29歳 (25.5%)**」、「**30～39歳 (20.9%)**」、「**0～9歳 (15.3%)**」が
 多くなっている。 *, etc.*

5 「サテライトオフィス」の“進出効果”について【まとめ】

分析結果まとめ

- 2014（平成26）年の「転入」の状況については、両町とも、
 - ・転入元では、徳島市、大阪府、東京都の上位3位で4割前後を占め、
【神山町：47.1% → 徳島市（27.7%）、大阪府（10.9%）、東京都（8.4%）】
【美波町：36.7% → 徳島市（15.8%）、大阪府（12.8%）、東京都（8.2%）】
 - ・年齢階級では、「20～29歳」、「30～39歳」、「0～9歳」での上位3位で6割超を占める。
【神山町：69.7% → 「20～29歳」（30.3%）、「30～39歳」（26.9%）、「0～9歳」（12.6%）】
【美波町：61.7% → 「20～29歳」（25.5%）、「30～39歳」（20.9%）、「0～9歳」（15.3%）】
- 一方、同年の「転出」の状況については、
 - ・神山町は、徳島県内への転出が7割超（75.2%）、
年齢階級では、「20～29歳（39.9%）」と「30～39歳（21.6%）」で6割超（61.4%）
 - ・美波町も、徳島県内への転出が7割弱（66.3%）を占め、
年齢階級では、「20～29歳（31.6%）」、「30～39歳（21.6%）」で5割超（53.2%）
- 依然、従前からの「就職」等を契機とする社会減の流れが継続している一方で、
「子育て世帯」の「地方回帰」といった、“新たな人の流れ”の受皿ともなっている
ことが推察される。

「RESAS」により、改めて“サテライトオフィスの効果”を実証！

“人口動態”以外の様々な効果の分析に向け、“RESASの更なる拡充”が不可欠！

【結論】

- ▶ 大阪府と東京都からの転入が2割と、“東京一極集中の是正”に一定の寄与！
 - ▶ 若者や子育て世代の転入が6割超を占め、“自然減の改善”にも貢献！
- “社会減・自然減”の双方を見据えた対策の効果的なツールとして、
“サテライトオフィスのさらなる展開”を図っていく必要がある！

6 「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」への位置づけ

vs東京「とくしま回帰」総合戦略【2015～2019】

128のKPIを設定

「RESAS」を活用しながら、“徳島の強み”を最大限に発揮！

1 ひと

目標

- 転入・転出者数：現状1,723人の転出超過 ⇒ 均衡へ(2020年)

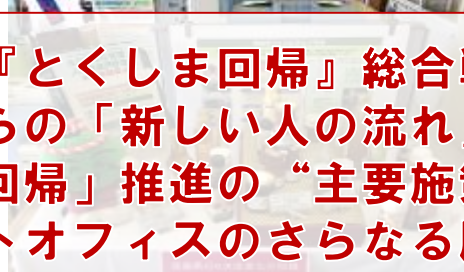


サテライトオフィスのさらなる展開

2 しごと

目標

- 雇用創出数：5年間で4,000人



6次産業化ビジネスモデルの構築

人口減少の克服！

「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」においては、大都市圏からの「新しい人の流れ」を生み出す「とくしま回帰」推進の“主要施策”として、「サテライトオフィスのさらなる展開」を位置づけ！

3 子育て

目標

- 希望出生率(1.8)を叶える(2025年)



テレワーク導入による新たな働き方「徳島モデル」を創出

4 まち

目標

- 徳島版地方創生特区：5年間で10区



「未来エネルギー」への挑戦

東京一極集中是正！

「産学官金労言」の代表者
地域・住民の代表者で構成

「新未来とくしま」の創造

「地方創生“拳県一致”協議会」を核に戦略を強力に推進！！

「地方創生」、
ひいては「日本創成」の実現に向け、



「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、
“新たな価値観・処方箋”を
全国へ発信！！

ご清聴ありがとうございました！

徳島県 政策創造部 地方創生局 地方創生推進課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

【電話】088-621-2361 【ファクシリ】088-621-2829

【e-mail】chihousouseisuishinka@pref.tokushima.lg.jp

“RESASの活用”をはじめ、
徳島の「地方創生」に関する取組を発信中！
フェイスブックページ「みんなで創る徳島県」をご覧ください！！
<http://www.facebook.com/minnade.tokushima>